

報道資料

発表年月日 平成28年2月4日（木）
担当部署名 奈良県医療政策部保健予防課
担当者 馬庭・辻本
0742-22-1101（代表）内線 3225・3135

感染症の注意喚起

～県内のインフルエンザの流行が「注意報レベル」になりました～

奈良県のインフルエンザの流行状況について、平成28年1月25日から31日までの1週間で県内54ヶ所の定点医療機関から報告された患者数は先週361人の2倍以上となる745人で、定点当たり13.8（人）となり、注意報の基準レベルである定点当たり10（人）を超えました。今後も流行が拡大することが予想されますので、手洗いやマスクの着用など予防策を徹底してください。

インフルエンザの発生状況については、指定届出医療機関（定点医療機関）からの報告により発生動向を把握しており、1週間の定点当たり（1か所当たり）の報告数が流行の基準指標になっています。

1 インフルエンザの発生状況

①県内の定点あたりの患者報告数の推移

1月4日の週から流行期（定点当たり1以上）に入り、その後急激に増加しました。

期間 月/日	1/4 — 1/10	1/11 — 1/17	1/18 — 1/25	1/25 — 1/31
奈良県	1.17	1.96	6.69	13.8
全国	2.02	4.11	10.56	—

※昨シーズンは、平成26年12月8日～14日の週に注意報レベルになり、今シーズンは7週遅い注意報発令となりました。

②その他の状況

・第4週（1/25から1/31）の保健所管内別届出報告数

	奈良市保健所	郡山保健所	中和保健所	吉野保健所	内吉野保健所
届出報告数（件）	155	138	376	44	32
定点当たり	14.09	8.63	17.09	14.67	16.00

・第4週（1/25から1/31）の年齢別の届出患者数（件）

0歳—9歳	10歳—19歳	20歳—29歳	30歳—39歳	40歳—49歳	50歳—59歳	60歳以上
390	192	19	36	52	24	32

③ウイルスの検出状況（平成28年2月1日現在）

奈良県におけるインフルエンザウイルス検出状況は、今シーズンの検査総数68件のうち、A型（H1pdm）が24件、A型（香港）が6件、B型が16件検出されています。（残り22件は検査中）

2 予防について

基礎疾患をお持ちの方や妊婦、乳幼児、高齢者は重症化することがあるので特に注意が必要です。

- ・ 感染予防と感染拡大防止のため、外出先から帰った時など、こまめに手洗いやうがいをしましょう。
- ・ 咳やくしゃみの症状があるときはマスクをするなど、咳エチケットを徹底しましょう。
- ・ 日頃から十分な休養とバランスの取れた栄養摂取を心がけましょう。
- ・ 室内の乾燥を避け、適度な湿度を保ちましょう。
- ・ インフルエンザにかかったかなと思ったら、マスクを着用のうえ、早めに医療機関を受診しましょう。